

北河原小・須加小における複式学級の解消に関する説明会 会議録（荒木）

- 1 開催日時 令和3年4月24日（土）午前9時～10時35分
- 2 開催場所 荒木小学校体育館
- 3 出席者 32名（保護者16名、地域16名）
- 4 教育委員会 鈴木教育長
 学校教育部 吉田部長、安藤次長
 教育総務課 長島課長、上野主幹、久積主査、柏瀬、田沼

5 会議内容

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	1 開会
鈴木教育長	2 あいさつ
鈴木教育長	3 複式学級の解消に関する方針 ・資料を基に説明
出席者	4 質疑 12月の学校運営協議会で義務教育学校計画が白紙になった説明を受けた。学校運営協議会のメンバーは各団体の長が参加している。学校運営協議会としては「義務教育学校は白紙になってしまったが、是非3校統合で強力に推進してもらいたい」と話をした。3月に学校運営協議会が開かれ、北河原地区と須加地区で説明会や見学会をやっていると聞いた。3校統合の動きでない雰囲気だったので残念に思った。3校統合は荒木地区の各団体の代表が来ている所で教育委員会に申しあげたので、総意かなと思っている。北河原地区、須加地区で説明会があったとしたら、複式学級になっていないが荒木地区でも説明会を開いていただきたかった。教育委員会に不利になる情報もあるかもしれないが、色々な情報を持っている人がいる。先ほどの説明で、北河原小や須加小の意見交換で、忍小や桜ヶ丘小が出てくるのだが、非常に不思議に感じる。なぜかという、行田市公立学校適正規模・適正配置の基本方針及び再編成計画という素晴らしいものを教育委員会が作って、これに基づいてやるとしていた。残念ながら義務教育学校は白紙になったが、常にこれをベースにし、東西南北を分けた。ここは北部地区なのに、忍小と桜ヶ丘小が出てくること自体が不思議。希望するのは結構だが、通学の指定校としては忍小、桜ヶ丘小は駄目なのだと言うべきだと思う。東西南北というのは土台だと思う。土台が簡単に覆ってしまう。色々な事を言えば、教育委員会は変えてくれるのかなと思われてしまう。アンケートを

	<p>やることはいいが、それは対象にならないと教育委員会で説明できたと思う。その理由としては東西南北をベースにやる。世の中どういう事が起こるかわからないから、5年ごとに見直しはあると思う。希望を取り出したら收拾が付かない。希望を取るにしても、駄目なものは駄目としないと大変になってしまう。全部バス出してくれるのかとか中学はどうかとかになる。なので、駄目なものは駄目として、理由としては「東西南北分けて、ここは北部なのだから、北部で考えてください」と。荒木地区とすると3校統合をずっと希望しているのだが、北河原地区はなくなってしまったので、せめて荒木と須加は統合して、先の事はわからないのだから色々な状況が出て来れば総合的に判断しなければならない。また、自由選択制というのも聞いている。子どもの通える学校がいくつもあるのであれば、それもいいと思うが、この辺は通える学校がなく、親も送り迎えで大変なので、教育委員会として指定校を示した方が親切だと思う。もし、須加小の子が桜ヶ丘小に行くとなった時に、通学区域の図を書くと、荒木を越えていく。知らない人が見ると行田市はおもしろいことをやる所だなという誤解が生まれるおそれがある。人口減少が続いている中で、人口増加のために「住みよい行田、緑の行田」と言っているわけだが、通学区域に疑問を感じるというのはまずいのではないかと思う。是非、教育委員会にはがんばってもらいたい。</p>
吉田部長	<p>まず通学区域外を選択できることについて説明する。義務教育学校が白紙になって、複式学級解消に向けて話し合いを進めてきた。複式学級解消は廃校がついてくるものである。12月の総合教育会議で市長から「廃校する場合はある程度保護者の意見を尊重したらどうか」という意見があった。そういうことを踏まえて、今回は通学区域外も候補として絞って行って、最終的に決定した。通学区域については、通学区域等審議会を立ち上げたので、複式学級解消の方向性が出た後の通学区域の検討をする予定となっている。</p>
出席者	<p>北河原小については義務教育学校を進めていく中で賛成・反対が半々くらいだったと聞いていた。その後、賛成に傾いたという風に聞いている。そういった中で、義務教育学校がなくなったということで、その後の北河原のアンケートを見ると、荒木小に行きたいのはほとんどいなかった。その原因は何かについて聞きたい。また、須加小について、アンケートを見ると、希望にこだわらず地域でまとまった学校に変更しても良いという人が8割以上いた。希望が半々だったとしても、8割以上の人が決められた所に行くとしている。そんな中、桜ヶ丘小にバスを出してでも行くような教育委員会の考えが示された。市長がかなり自由選択</p>

<p>吉田部長</p>	<p>制にのめり込んでいる雰囲気を受けている。教育委員会の合同会議の議事録を見ても、教育委員は選択制については色々なメリット・デメリットがあるので、将来について検討する必要がある、今現在は通学指定区域を守っていくという風な内容であったと理解している。そんな中で、バスまで用意して荒木を飛び越えて桜ヶ丘小に行くのは、まさしく自由選択制で、教育委員会の方針があやふやな感じを受けている。統合ということは、荒木小と須加小が廃校になって、二つが合わさって統合という形になると思う。そういった事を含めて、保護者の意見も義務教育学校で進めてきた内容と変わってくるのではないかと思う。教育委員会としての方向はしっかりしていただきたいと思う。</p> <p>1点目について、一番大きな理由としては、北河原の中学生については通学区として本来は見沼中に通うべきなのだが、南河原村と合併した時から、距離的な部分で南河原中を選択できるようになった。やはり保護者、特に低学年は近くの学校に通わせたいという思いは強くある。スクールバスが出るにしても、荒木小だと遠く、何かあった時に迎えに行く場合に近い方がいいという思いが強かったのだと思う。また、自由選択制についてとバスの関係は、総合教育会議で「17対17で割れているなら両方の保護者の希望を叶えてあげたい」という市長の思いから、「例えば下限15人以上いれば出してもいいのではないか」という意見があった。そのため、バスを出すというより、荒木小から桜ヶ丘小に回すというイメージで加えさせていただいた。</p>
<p>出席者</p>	<p>この複式学級解消の方針を見ると、北河原小が南河原小に編入とあるが、かつて南河原小と北河原小の統合がご破算になっているのに、こういう結果になるのはおかしい感じがする。意見交換の議事録やアンケートを見ると、複式学級解消に関して地区の反対の意見がかなりあった。わかる気がする。地区というのは小学校をコミュニティの場所として捉えていて、それが廃止にしてどうするのかという意見があるのだと思う。そもそもの再編計画を見ると、東西南北で4つに分けるとしている。であるならば、最初から北部地区の1つの学校を目指す方向で考えていけば、地区のコミュニティの問題も仕方ないということにもなるし、そこにはお金をかけて、教育長が以前話していたような誰もがうらやむ学校を作ってこそ、そこに通わせたいと思うのが保護者の意見だと思う。小手先の形でやっていっても、荒木小に須加小の子どもが来ても、中学校は見沼中に行っても、根本的な問題は解決されない。まずは義務教育学校設立についても、まずは作って、次は南河原と統合を考えていくとしていたが、むしろ北部地区として、そういった学校を目指す打ち出</p>

吉田部長	<p>さないと、東西南北の4つの再編成というのはいつになっても出来ないと思う。荒木小に一部の子を置いて桜ヶ丘小に行くというのは、変な形だと思う。須加小の子どもが半分に分かれてしまう。やはり1つの学校で学んだ子どもたちは、そのまま卒業していくのが保護者の考えだと思う。中々難しい問題だと思うが、大局的な見地に立って、再編計画をどうやったらそれぞれの地区が納得できるかという視点で考えてほしい。</p>
出席者	<p>これまで義務教育学校は北部に学校を残す鍵だった。これが白紙になったが、特に北河原小は人数的に限界ということで、複式学級の解消は喫緊の課題として進めてきた。保護者との話し合いの中で、最初の時に3校統合が望ましいと話した。ただ、市長からも「廃校だから保護者が希望するのであれば意見を聞いてもいいのでは」があり、話し合いをする中で、3校であれば統合、それ以外は編入しかないと話を進めてきた。その結果、北河原は南河原小への編入を方針とした。市全体の計画については、通学区域等審議会を立ち上げているので、その中で見直しをする必要があると思っている。</p>
出席者	<p>北河原小についてはやむを得ないと思っている。須加小については、荒木を飛び越えて桜ヶ丘小にバスを出すことは、私は大反対。通学指定区域が崩れてしまう。荒木小に通う保護者の中からも、そういう事が許されるなら将来を考えて他の学校へ行きたいという話が出てくる。この通学指定区域のタガが外れると、コミュニティを含めて教育の根本が変わってくる。市長が個人的にのめり込んでいると受け止めているのだが、それは教育委員会が将来を考えて、市長を説得するような志で進めていかないと地域や保護者・子どもに禍根を残すことになる。是非踏ん張ってもらいたい。</p>
吉田部長	<p>これまでの総合教育会議でも話し合いを設けてきた。今回の判断についても、総合教育会議を経て、臨時の教育委員会で最終的に判断した。今後も市長と意見交換しながら進めていく。</p>
出席者	<p>この話はよくわかっていないのだが、決定事項としての説明会なのか。</p>
吉田部長	<p>教育委員会の方針として決定したものだが、手続き的は6月議会に条例改正を提案し、議決を受けて最終的に決定する。</p>
出席者	<p>そうすると、須加小が2つに分かれることが覆ることはほぼないとい</p>

	うことか。
吉田部長	今のところない。
出席者	来年の4月に統合ということは、名前とか新しくするものがあると思うが、4月に間に合うか。
吉田部長	スケジュールはタイトだが、最初に決めなければならないのが新しい校名となる。これは義務教育学校を準備している中で色々な方から思いが込められた校名を応募してもらった。義務教育学校が白紙になったことにより、せっかくのものが使われなくなってしまったのだが、それをベースに両校の学校運営協議会に協力していただき決めていきたい。その他の準備についても義務教育学校の中ですり合わせをしてきたノウハウを生かせるので、真っ新たな状態で始めるよりは間に合わせられる状態だと思っている。
出席者	今日の話聞くまで、以前の学校がなくなるという話から、こういった話が進んでいるということを知らなかったのだが、今後は説明会があるのか。
吉田部長	統合に向けた説明会や話し合いの場を設けていきたい。
出席者	北河原や須加の地域については今まで色々意見交換などをしてきた。学校の建物は残るかもしれないが荒木小は廃校になる。今後、荒木地域のアンケートや保護者の意見を聞く予定か。
吉田部長	荒木地区、保護者には義務教育学校が白紙になる時に署名という形で色々意見をもらった。その中で義務教育学校は反対だが、荒木小校舎を使った3校統合は賛成という風になっていた。統合に関しては理解があると思っている。統合に向けた話し合いを進めていきたい。
出席者	北河原小と須加小については意見交換会が行われて、意見を基に進めてきたが、今日は意見交換会でなく報告会のように感じる。今日、色々意見を言っても無駄のように感じる。荒木地区の意向も市長に話してもらいたい。市長が一番上だから従わなければならない部分もあると思うが、市長が言ったからではなく、教育委員会として立派な資料を作って、動いているのだから、無理なものは無理としてほしい。あるいは、荒木地区はこんなに強く考えているというのがないと荒木地区としてはす

<p>吉田部長</p>	<p>つきりしない。のけ者にされているような感じがする。教育委員会を信頼しているので、配慮してもらいたい。</p> <p>今日は説明会ということで集まってもらった。今日の意見は出来る限り具体化していきたい。</p>
<p>出席者</p>	<p>義務教育学校が白紙になった。荒木地区で反対の署名をしたので、須加や北河原の方は署名の在り方に確執があって、荒木小を希望する人が余りいないのではないかと地域の方から聞いていた。須加の半分の方が荒木を希望してくれているのだが、半分が桜ヶ丘小を希望する理由は何なのか。私だったら荒木でなかったら距離からいっても北小とってしまう。また、須加の一部と荒木小だけで新しい学校を作るとしても人数が限られる。義務教育学校の時も10年経ったら見直すとしていた。10年のうちに新しい学校が複式学級にならないとは限らないと思う。見沼中もそうだが、10年先の学校の在り方としてどういう考えを持っているのか聞きたい。</p>
<p>吉田部長</p>	<p>桜ヶ丘小については、資料にもあるが話し合いをする中で意見のあった小学校を見学してきた。その中で保護者にとっては、北小より桜ヶ丘小の方をいいと感じだと思う。今回の話し合いの中で保護者も真剣に考えていた。その中で、将来の中学校のことについて一番関心があり、見沼中だと部活を選べないといった思いから桜ヶ丘小・北小が意見として出てきたのだと思う。</p>
<p>鈴木教育長</p>	<p>今後のことについてだが、荒木小については単独で存続したとしても10年先も複式学級にならない。そこに須加小が加わるので複式学級にすぐにはならないと思う。複式学級は2学年で16人以下となる。見沼中は、私立にいかない前提では5年間は90人程度が確保されるが、6年後は60人くらい、1学年20人になってくる。そうなると学校の機能として難しい問題も出てくる。そのため、通学区域等審議会ですまは見沼中学校区だけでなく、南河原中も同じなので、市内全体の中学校について優先的に審議してもらおう予定になっている。荒木に新校を作るので、北部に学校を残す方向では考えている。南河原小については、人数的なものもあるが、校舎の耐用年数が10数年でできてしまうので校舎自体の存続が厳しい状態にある。そうすると、その先の中学校の存続も難しくなる。</p>
<p>出席者</p>	<p>須加地区の新小学生に対して、希望を毎年取るのか。その場合の学校</p>

<p>吉田部長</p>	<p>はどこでもいいのか、荒木小と桜ヶ丘小だけなのか。再編計画を変えていかなければならないと思うが、北部地区の将来像はいつ頃に完成するのか。</p> <p>来年以降も桜ヶ丘小か荒木小を選べるというか、基本的には荒木小となるが、桜ヶ丘小への指定校変更を認める形になる。</p>
<p>出席者</p>	<p>荒木小を原則で、やむを得ない事情で桜ヶ丘小という形でしてほしい。</p>
<p>吉田部長</p>	<p>基本的に指定校はあくまで荒木小になる。教育委員会の方針を決定したので、出来る限り荒木小にという話はしている。</p>
<p>鈴木教育長</p>	<p>2点目についてだが、いつとは言えないのだが、今の審議会は2年が任期なので、その間に答申をもらいたいと思っている。新校の進学先の中学校についても審議してもらいたいと思っている。</p>
<p>出席者</p>	<p>須加小の保護者で桜ヶ丘に行きたい方は、長野中に行って部活をやりたいという理由では、あまりにも不公平ではないか。見沼中の子どもからすれば、沢山の子どもが入ってきて、部活動が活発になるように思っている。半分に分けられたら、ますます見沼中の生徒の部活動が制限されてしまう。南河原中と見沼中の2つ合わせた形を追求すべきではないか。そうでないと、今見沼中に通っている子もこれから通う子も長野中と同じ様な部活が選択できる事を望んでいると思う。少ないから制約されてしまう。先ほどの説明のように、部活動をやりたいから長野中に通うというなら、見沼中、南河原中の生徒にも同じような条件でやってあげるのが教育委員会の仕事だと思う。そうでないと不公平になる。須加小の要望を聞くととなると、荒木小の要望はどうなるのか。見沼中に行っても現実には色々できない。平等に考える事が行政の仕事だと思う。</p>
<p>鈴木教育長</p>	<p>もっともな意見だと思う。私どもも色々と考えた。新校になることで、新校の進学先の中学校の在り方を審議会で検討していく。</p>
<p>出席者</p>	<p>意見交換の結果として4校があるが、通学区域に関係ない学校があがったのか不思議に思っている。義務教育学校が白紙になったので、こうしたのであれば、そもそも須加の地域も義務教育学校には反対しかねるという意見が多かった。自由選択のようにどこがいいですかという感じで教育委員会から投げかけがあったというようなことも耳にしている。</p>

	<p>そのようなことがあったのか。皆さん、通学区域があるからと納得していると思うが、このようにやってしまうと、行田全体が選べるとしなないと、他からの意見が出てくる。どのような経緯で4校が出てきたのか知りたい。9番の上の須加小の場合は桜ヶ丘小のバスは検討中となっているが、北河原小についても忍小に行きたいという方もいるのだが、バスを出してくれと言われたら出すのか。須加小が半々だから両方に出すというが、北河原小からすれば少数だと出してくれないのかという風になってしまうと懸念している。須加小も回答率が70%で、返事をもらっていない家庭もあるので、どのように変わるのかわからない。須加小はバスが出る、北河原小はバスが出ないという理由付けを聞きたい。</p>
吉田部長	<p>総合教育会議の中で、市長から「廃校になる学校は保護者の意見を尊重したらどうか」と意見があった。保護者の意向を確認して、この4校があげられた。須加小の保護者の意見が割れているが、バスについては経費が掛かるものなので、1人や2人で出すわけにはいかない。下限として最低でも15人以上希望する方がいれば出していきたい。北河原については、アンケートの結果だけをみると、忍小を希望する方は5人となっている。やはり5人に対してバスを出すのは、経費的にも難しい。そのためバスを出す予定はない。</p>
出席者	<p>そうすると、自由選択ができるということは、教育委員会から投げかけたのか。</p>
吉田部長	<p>説明会の中では、複式学級の解消のパターンとして、3校統合を示した。また、廃校になるということで意見を尊重させるため、他の学校への編入という形で資料では示した。</p>
出席者	<p>教育行政なので、平等にやっていただかないと、後で色々なことが起こってしまう。荒木小は3校で仲良くやっていきたいということで、迎える体制でいた。桜ヶ丘小から長野中がいいという考えもあるかもしれないが、2番のような投げかけがあるようだと、荒木の方はびっくりしたような印象を受ける。太田西や太田東の合併の時や中央小と星宮小の合併の時に他の学校も自由に選べるというような投げかけはしてないと思う。バスもそうだが、人数の制限を見るのは須加小だけで、北河原小は見ないというと、不公平感を感じると危惧する。須加は荒木と統合で進めるという結論は出ていないのか。人数的なものはわかっているのか。</p>

吉田部長	人数は確定していない。最終的には10月頃になる。
出席者	<p>個人的な意見では、方針には賛成だが、かなりの問題点や懸案事項があるので改善してもらいたい。荒木小を越えて桜ヶ丘小というのは、特認事項として明記した方が、親も我々も安心できる。そういう方向で持っていけば問題ないと思う。こういう時代なので、フレキシブルに考えて、問題があれば直し、それでもどうしてもというなら、一回やってみて1年後にいい方向にもっていけば何も問題ないと思う。</p>
吉田部長	今日いただいた意見も踏まえて、しっかり進めていきたい。
鈴木教育長	<p>現在わかっていることしか話せないのも、不安が解消していないと思う。須加小との意見交換を進めていきたい。教育委員会で2対2に分かれた時に、私が今回の方針を選択した理由について説明させていただく。保護者からも色々な意見が出ていたが最終的には教育委員会が決めるという事は意見交換の場でもたびたび話してきた。1つは保護者や地域の意向。2つ目は子ども達の安心・安全の確保。通学に限らず、日常的な怪我や災害で引き渡す状況になるなど色々なことを考えると、子ども達の安心・安全を優先すべきだと思う。まして子ども達に意見を聞くと、どこに行ってもみんなと一緒にいきたいという思いがある。新しい学校に行くというのは不安があると思う。不登校に繋がらないように配慮したい。3つ目は地域を崩したくないと思った。今の子ども達は地域と共にある学校の中で育てており、学校というのは地域の支えがあって、学校で出来ないことを地域の方に支援してもらっている。そのため、地域を分断することは避けたいと思う。子どもの不安、親の不安という所で、これまで児童同士や学校同士の交流の実績についても判断した。1つにまとまっていくにしても、荒木小、北河原小、須加小については、小中一貫教育の頃から特に小学校同士の交流あるいはどうしたら一緒に勉強を気持ちよくできるかというようなすり合わせや研究をしてきた。去年はコロナでなかなかできなかったが、交流も3年やってきて、学校レベルで子ども達の受け入れ態勢ができています。そういったことも考えて、子ども達の不安を解消するためには、交流を積み重ねてきた学校がいいと思う。須加小は規模的には小さい学校なので、親の不安を考えた時に、自分達をわかってくれた先生に新しい学校に行ってもらいたいという思いが強いと思う。子どももそうだと思う。編入だと、出来る限りのことはするが、相手先の学校の大きな職員集団の人事を動かすことは難しい。新校となると、子ども達を受け持ってくれた先生をある程度調整することができる。そういったことから、荒木小と統合して新校</p>

	<p>を作るという方針を結論とした。一昨日の夜も行ったのだが、今日の午後も須加小の保護者に説明する。是非新校にお願いしたいという事を伝えたいと思う。先ほどその先の中学校についてどうしても引っかかっているという意見があったが、見沼中の人数的にも動かなければならない。審議会は2年間という任期ではあるが、できるだけスピード感をもって立て直していきたい。審議会では市全体の中学校の在り方を審議してもらい、その中で新校の進学先の中学校について考えてもらおうと思っている。12月からずっと話し合いをしている中で、一つにまとまってもらいたいと伝えてきた。ただ、市長の思いもあるので、親の事を考えるとバスを出すのもいいのではないかとすることを踏まえて、下限はあるが、そのような話をさせていただいた。是非一緒になる子ども達の気持ちを第一に考えていただき、ご理解をいただきたいと思う。皆さんから出た意見も今後生かしていきたいと思うし、色々な形での意見交換や保護者への説明を予定していきたい。</p>
出席者	<p>教育長の言うとおりでと思う。だからこそ、須加小の保護者を説得していただき、是非、二分されないような形に再考してほしい。バスを出すことが、行ってもいいと推奨している雰囲気だと思うが、それは特例中の特例だと思う。荒木地区は歓迎しているので、須加の方には是非まとめて来てもらいたい。</p>
出席者	<p>桜ヶ丘小に編入するという形か。</p>
吉田部長	<p>編入となる。</p>
出席者	<p>荒木小と統合であれば、ほとんどの子が荒木に来ることが前提ではないか。もし、来年、再来年に桜ヶ丘が多くなったら、教育委員会が進めた統合は失敗ということになる。統合というのは学校を合わせるの、2分の1とか3分の1の生徒が来るのでは統合とは言わないと思う。方針として書いてあるわけだし、このルールに従ってやっているとするれば、当然ほとんどの生徒が荒木に来るのが統合となることを強く押さえていただかないと、統合と言いながら、2年目は10人になって、3年目は5人になってというのでは、統合でなくなってしまう。統合という事で理解したので、宜しくほしい。</p>
吉田部長	<p>指定校としては荒木との統合後の新校になる。今もやっているのだが、何らかの事情、例えば引越す時に最終学年だから今までの学校に行きたいという場合には指定校変更を認めている。今回の桜ヶ丘小に</p>

出席者	<p>については、指定校変更で認める方向で考えている。</p> <p>確認だが、バスを出すことを提示してアンケートを取った結果なのか、それとも、アンケートを先にとった後からバスが出てきたのか。</p>
吉田部長	<p>アンケートを取る段階では、バスが1つしか出さないとしていた。保護者もまとまる思いはあるが、それをまとめる人がいないから、バラバラの結果になったと保護者が話していた。結果として半々になったので、総合教育会議の中で市長から「分かれているなら両方にバスを出してもいいのではないか」という話があって、アンケート後にバスを出す方向を示した。</p>
出席者	<p>バスを出さない場合は自分で送り迎えをする前提でこの数字だと思うが、後から行政が送り迎えを手助けすると条件が変わったので、自ずと数字も変わってくる気がしてならない。</p>
吉田部長	<p>保護者との話し合いの中でも、指定校を荒木新校に決めたので、そちらを選択してほしいという話をしている。最終的には、下限の15人以下ならバスを出さないとする。</p>
出席者	<p>14人なら出さないということか。地域の要望が出ていて、教育委員会はそれで乗り切れるのか。</p>
吉田部長	<p>そういうルールを示したい。</p>
出席者	<p>心配しているのは、昔どこの地域はどこの学校に行くという検査をしたことがあった。検査する時にはこの地域はこの学校に編入すると教育委員会が決めた。最終的には保護者と子どもの意向になってしまい、中身が薄くなってしまった。そういったことが何回かあった。アンケートの後に条件が変わって、地元はてんでこ舞いになっているという話を聞いた。</p>
司会	<p>5 閉会</p>